

ごあいさつ

2009年度は、自動車保険の新規契約獲得が好調に推移し開業以来最高の件数となりました。その結果、保有契約も順調に増加したため、全種目合計の正味収入保険料は前年度から10.4%増え、674億円となりました。これに資産運用収益等を加えた経常収益も前年度から10.2%増え、681億円となりました。経常利益は、自動車事故の増加による損害率の悪化があったものの、事業費の増加が抑制気味に推移したため、前年度より17.8%増え、25億円となりました。また、当期純利益は、前年度には固定資産処分損を計上したことで純損失となっていました。今年度は16億円を計上することができました。なお、2010年3月末のソルベンシー・マージン比率は1,018.5%となり、引続き十分な財務的健全性を確保しています。

今後とも、適正水準の収益性を確保しながら成長を続けるにあたっては、主に情報システム分野を中心とした戦略投資を継続するとともに、事業費効率の改善にも取り組めます。あわせて、損害率の動向を考慮した商品政策の実現に努力してまいりたいと思います。

2009年度は開業10周年の節目の年でした。振り返ってみますと、成長を支えた大きな要因のひとつは独自性のあるリスク細分に基づく価格競争力を持った商品であり、また品質を重んじて強化に取り組んだサービスであったと思います。ダイレクト保険会社としてのビジネスモデルの特性がこのような取り組みを可能とし、多くのお客様からのご支持につながったと考えています。



これからの10年を考えると、市場の成熟や競争の激化など厳しい状況が待ち受けています。また、ビジネスの世界ではインターネットがさらに大きな役割を担う時代になるでしょう。こうした環境の中で、われわれは確実にビジネスモデルを進化させ、そして今まで以上に顧客とのコミュニケーションを深めて顧客価値を高め、ソニー損保が高い品質をうたうブランドとして、より多くのお客様から信頼と支持を得られることを目指したいと思います。こうした努力を続けることで、たゆまぬ成長を成し遂げ、市場における確固たるポジションを築くことが可能になると考えています。引続き皆様のご支援をよろしく願いいたします。

ソニー損害保険株式会社

代表取締役社長

山本真一